

在宅医療の充実に係る具体的な取組例

	実施主体※	体制構築	人材確保
退院支援(地域側)	医療機関等	<ul style="list-style-type: none"> 必要な事例の退院時カンファレンスへの参加。 退院調整担当者との定例会議の開催。 医療機関との連携のための地域側の一元的な窓口の設置。 	<ul style="list-style-type: none"> 退院後の療養生活の相談に乗る窓口 に配置する看護職員や医療ソーシャル ワーカーを育成するための研修。
	行政・医師会 等	<ul style="list-style-type: none"> 退院(退所)元の医療機関・施設・と、在宅医 療・介護を提供する医療機関・事業所が情報交 換できる場の設定。 	
日常の療養生活の 支援	医療機関等	<ul style="list-style-type: none"> 診療所間の連携や、病院医師による支援によ り、在宅医の不在時の代診等の支援体制の構 築。 医療依存度の高い患者や小児等患者への対応 力向上のための研修。 在宅医療における衛生材料・医療材料の円滑供 給のため、地域で使用する衛生剤料等の規格・ 品目統一等に関する協議を地域の関係者間で 行うとともに、供給拠点を整備。 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療に取り組む医師確保のため の同行訪問を含んだ導入研修。 訪問看護師の確保のための採用時研 修に対する支援、研修機関の集約化 (拠点となる訪問看護事業所が地域 の教育機能を担う)、看護系大学と連 携した教育体制の構築。 在宅歯科医療を実施する歯科診療所 の後方支援を行う病院歯科等の歯科 医師や歯科衛生士の確保。 これまで訪問薬剤管理指導に取り組 んだ経験のない薬局に対する研修。
	行政・医師会 等	<ul style="list-style-type: none"> 地域の在宅医療の課題等の解決を目指した関 係者(多職種)による「在宅医療推進協議会」 の設置・運営。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係者と協働した在宅医療に取り組 む人材確保の支援。

	実施主体※	体制構築	人材確保
急変時の対応	医療機関等	<ul style="list-style-type: none"> 診療所等が 24 時間体制を確保するための、病院と診療所（病診）、診療所同士（診診）、診療所と訪問看護事業所の連携の構築。 後方病床を確保するため、かかりつけ医を通して入院を希望する病院など必要な情報をあらかじめ登録するシステムの構築。 在宅療養患者の安全な救急搬送体制を確保するため、行政機関や消防機関、医療機関等が一堂に介する協議会の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 介護従事者に必要な急変時の知識とスキルの向上を図るための、介護従事者を対象にした救命講習。
	行政・医師会等	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体等と協働で、24 時間体制構築のためのコーディネートや支援。 	
看取り	医療機関等	<ul style="list-style-type: none"> 患者や家族に対する、在宅で受けられる医療や介護、看取りに関する適切な情報提供。 地域で使用する医療用麻薬について、地域の関係者間で品目・規格統一等に関する協議会の開催や供給拠点の設置。 	<ul style="list-style-type: none"> 看取りに対応できる医師、看護職員、介護関係者を養成するための、多職種の研修や施設との合同開催の研修。
	行政・医師会等	<ul style="list-style-type: none"> 患者や家族に対する、在宅で受けられる医療や介護、看取りに関する広報や情報提供。 	

※ 実施主体については、一般的な例を示したものであり、地域の実情に応じて柔軟に役割分担をする必要がある。